

## 競技注意事項

### ◎ 感染防止対策について

- (1) 会場への入場時と帰宅時にはチーム代表者が受付にて「体調管理チェックシート」の確認を受けること。確認がない場合は参加を認めない。
- (2) 競技中、ウォーミングアップ、クーリングダウン以外の時は、マスクまたはフェイスシールドの着用を心掛ける。ただし、熱中症の危険があるときは、他人との距離を1m以上とり、マスクを外してもよい。
- (3) 感染症対策として、利用できるゲートを制限する。
- (4) トイレは、指定の場所のみとする。
- (5) 利用できるスタンド席は、メインスタンドのみとする（選手へのコーチングは認める）。立ち入り禁止区域には絶対に入らないこと。
- (6) スタンド席に座る場合は、必ず前後左右1座席以上空けて座るようにする。
- (7) 今大会では、感染防止のため競技場内に横断幕およびノボリ旗等の設置を禁止する。
- (8) スタンドからの応援は一切禁止とする。
- (9) 別紙「参加のみなさんへ」をよく確認して参加すること。

### 1 競技規則について

本大会は、陸上競技活動再開についてのガイダンス、2020年日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

### 2 練習について

- (1) 補助競技場での練習は、トラック競技種目と跳躍競技種目のみとする。
- (2) 投てき競技種目の練習は投てき場でのみおこなうこと。  
尚、投てき練習場での練習は、公式競技時間以外とし、事故のないように十分注意し行うこと。  
(円盤投・ハンマー投、やり投競技については、投擲場での実施となる。)
- (3) 競技運営室8(雨天走路)での練習は原則として禁止する。  
但し、走幅跳の競技中における調整練習は認める。
- (4) 補助競技場における「レーン」の使用区分および注意事項について
  - ① 周回1・2レーンは中・長距離、競歩関係。
  - ② ホームストレート3・4・5・6レーンは短距離関係。
  - ③ ホームストレート7・8レーンは100mH、110mH関係。
  - ④ 1・2コーナーからバックストレート、および3コーナーにかけての3・4・5・6レーンは短距離関係。(リレーのバトンパスを含む)
  - ⑤ 1・2コーナーからバックストレート、および3コーナーにかけての7・8レーンは400m関係。
- (5) フィールド内でのラダー、ミニハードルの使用は禁止する。

### 3 招集について

招集所は第1ゲート(100mスタート側)に設置する。

(1) 招集時刻は競技日程表に記されたとおりとする。

(2) 招集の方法

競技者は招集開始時刻から招集完了時刻の間に招集所にて、ロールコールの確認を行う。

(3) ロールコールの確認を終えた競技者は、競技役員より腰ナンバー（800m以上のトラック種目が対象）を受け取り、各自、トラックのスタート場所、フィールドの競技場所に移動する。

#### 4 ナンバーカードについて

登録によって交付された番号に基づいて、各自が作成したナンバーカード（24cm×20cm）をユニフォームの胸と背にはっきり見えるようにつける。

(1) 跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。

(2) 800m以上の中・長距離走に出場する競技者は腰ナンバーカードをパンツの右側後方に付ける。  
腰ナンバーカードは競技終了出口（第4ゲート）に回収箱を設置するので、各自で返却すること。

#### 5 競技について

(1) トラック競技について

①スタートの合図は英語で行いフライングは1回で失格とする。

②短距離競走では、競技者の安全のために、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。

③リレー競技に出場するチームは、招集完了時刻1時間前までに招集所の競技者係にオーダー用紙を提出する。

(2) フィールド競技について

①走高跳のバーの上げ方は下記のように行う。

種目	練習①	練習②	スタート	以降のバーの上げ方		
中学男子	145	当日 設定	150	5cm 刻み	155	以降 3cm 刻み
高・一男子	170		175		185	
中学女子	125		130		135	
高・一女子	140		145		150	

②棒高跳のバーの上げ方は下記のように行う。

種目	練習①	練習②	スタート	以降のバーの上げ方		
中男・女子	当日設定		200	10cm 刻み		
高・一男子			370			以降 10cm 刻み

③三段跳競技における踏切板の設置は男子12m、女子9mとする。

④競技場設置の滑り止め（炭酸マグネシウム）は感染防止のために共用をしないので、滑り止めが必要な競技者は各自で準備すること。

#### 6 競技用器具について

競技者が本大会で使用する器具は、棒高跳競技のポールを除いては、全て主催者の用意したものでなければならない。ただし、投てき用器具については検定を合格したものに限り使用することができる。

検定は、競技開始1時間前までに器具庫にて行うこと。

## 7 抗議について

- (1) 競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の結果の正式通告後30分以内に、競技者自身もしくは代理人が審判長に対して口頭で申し出なければならない。
- (2) 口頭での抗議に対する裁定に不服の場合は、その競技者に代わる責任者（顧問または監督）が、文書と預託金10,000円を添えて本大会総務へ正式な抗議の手続きをとる。  
尚、この預託金は、抗議が認められないときには没収される。

## 8 表彰について

各種目3位までの入賞者には賞状を授与する。

## 9 一般注意事項

- (1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、本部に連絡する。  
ただし、競技場での疾病・傷病等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (2) サブトラックおよびスタジアムスタンドでのテントの設営は禁止する。
- (3) ゴミはチーム毎にゴミ袋等を利用して管理し、毎日終了時に持ち帰ること。